

触媒 DPF 一体型 分解^{*} 洗浄方法

クリーナーが触媒に多少吸収されますので、多めのクリーナーが必要となります。

ハイエースなど乗用車の DPF を洗浄する場合
DPF クリーナー 小型車用 1 セット

2t/4t など小型トラックの DPF を洗浄する場合
DPF クリーナー 小型車用 1.5~2 セット

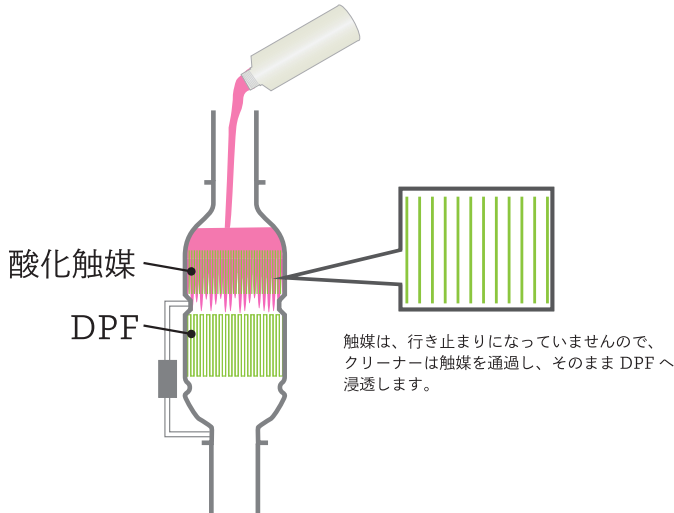
※DPF を車両から下ろした状態のこと。



①各クリーナーを順番に DPF に浸透させます。

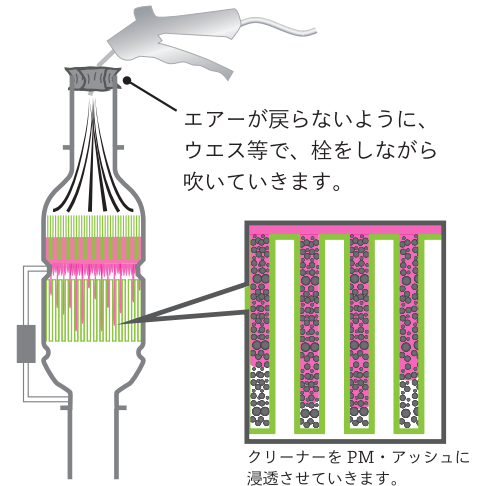
①-1

DPF のエンジン側(上流側)よりクリーナー浸透させます。



①-2

クリーナーを浸透させるために上からエアを 1~2 分吹きかけます。

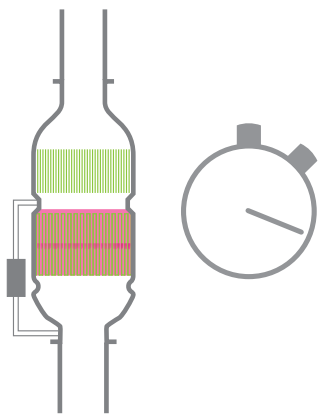


②水を使用して洗浄します。DPF を逆さにします。

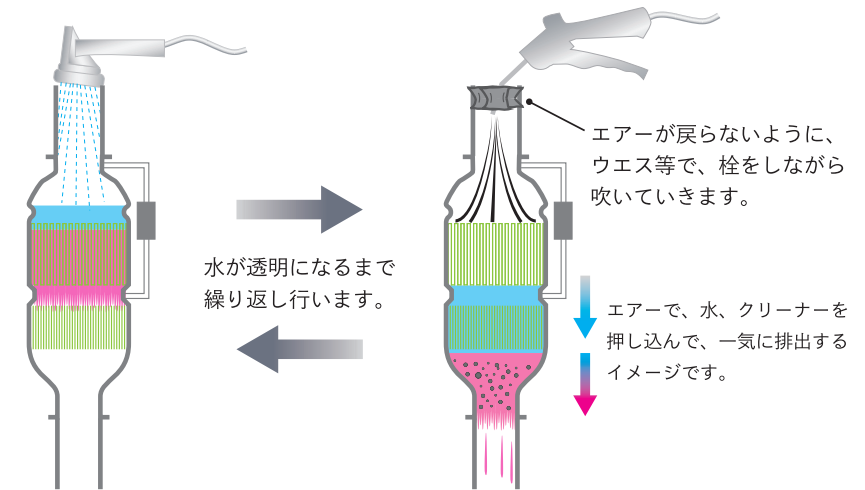
①-3

エアを吹きかけ後、15 分以上
 放置します。

放置時間：1 液 15 分、2 液 15 分、3 液は必要ありません。



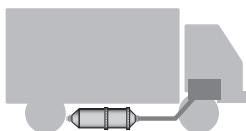
DPF を逆さにし、下流側より【水で洗浄】・【エアで水を押し流す】
 この工程を水が透明になるまで繰り返します。



③ 乾燥工程

警告！ DPF が割れてしまいますので、濡れた状態で強制再生は絶対行わないでください！

取り付け
 車両に DPF、各種センサー、パイプ、ホース類を取り付けてください。



予備乾燥

エンジン始動し、アクセルを 5~6 回全開にして初期の水分を飛ばします。1500rpm~2000rpm で 15 分間放置、または低速試運転(街乗り)します。



本乾燥

強制再生で本乾燥し完了です。

